

## 室外機カバーって効果ある？

エアコンクリーニングでお客様のお宅へ訪問すると、クリーニング中にたくさんの質問を受けます。その中でも多くの声がある「エアコンの室外機カバーって、つけたほうがいいの？つけないほうがいいの？」との質問に対し室外機カバーの正しい使い方と注意点をご説明します。

エアコンの室外機カバーは、おしゃれなデザインのものも多く販売されています。ベランダや庭づくりにこだわりのある人は、室外機をカバーで隠して景観を良くしている人もいるでしょう。ただし注意点があります。エアコンの室外機カバーは、景観を良くする効果はありますが、使い方を間違えると省エネとは逆効果となります。

室外機カバーには、大きく分けて2つの種類があります。

1. 室外機の上に乗せる屋根型の日除けパネル
2. 室外機を囲う箱型のルーバー

その中でも、電気代の節電に効果的なのは1の日除けパネルのほうです。

2のような、ルーバーと呼ばれる箱型の室外機カバーは、室外機の内部に砂や枯葉、昆虫といった異物の侵入から守ることができます。しかし室外機を四方から覆ってしまうため、室外機の熱をこもらせてしまいます。そうすると、節電のためには室外機の周りの温度を下げなければならないのに対し、ルーバーの場合は室外機の周りの温度を上げてしまうことになるため、省エネには逆効果となります。

節電のための室外機カバーを購入する場合は、エアコンの屋根のみになっている日除けパネルを選びましょう。

### エアコン運転中の室外機の役割とは

#### 【冷房時】

冷房運転中は、室外機は部屋の中の熱を外に捨てるために放熱をしています。室外機にカバーをかけてしまうと、放熱をさまたげることになり余分に電気を使うこととなります。

#### 【暖房時】

暖房運転中は、室外機は外の空気中の熱を吸い込んで、室内の冷たい空気を室外機から外に吐き出すことで、部屋を暖かくしています。室外機にカバーをかけてしまうと、室外機から吐き出した冷たい空気が、室外機の後ろに回りこみ、室外機がこの冷たい空気を吸い込むことになるため、暖房の効率が落ちてしまいます。

### **エアコン効率を良くするための、室外機周辺のお手入れ**

夏のエアコン冷房時は、室外機カバーを囲うのではなく、屋根型日除けパネルや葦簀などで日陰を作り、室外機に直射日光が当たらないようにしましょう。無駄な電力消費をなくし、電気代を節約することができます。

冬のエアコン暖房時、雪がたくさん降る地域にお住まいの場合は、防雪フードや防雪ネットで室外機の雪対策が重要です。雪による目詰まりや付着での運転効率低下を防ぐことができます。

また、室外機の周りに植木鉢などものを置かないように気をつけましょう。夏は雑草なども刈り取り、風通しを良くしておきましょう。

### **まとめ**

エアコン室外機周辺は風通りを良くしましょう！

どうしても景観が…という方はエアコン使用時だけでも箱型ルーバータイプのカバーは外すように心がけましょう。エアコンメーカーのダイキンもそのように推奨しています。

「その都度カバーを外すのはちょっと面倒…」という方には屋根型日除けパネル、葦簀、すだれがお勧めです。

おしゃれかどうかは別ですけど、省エネ、冷却効果は上がると思います。